

## ● 世界の主な火山活動

平成 23 年（2011 年）1 月に噴火したと報告された主な火山（日本を除く）は下図のとおりである。

エトナ（イタリア）（図中 A）

12 日の夕方に、南東火口丘の東側山腹下方の火口からのストロンボリ式噴火が激しくなった。同日 21 時には溶岩流がバッセ・デル・ボーベ谷の西壁へ向かって流れ下った。12 日～13 日の夜間には溶岩噴泉が生じ、おびただしい量の溶岩流が標高約 1,630m（火口から約 4.2km）まで流れ下り、火山灰が数 km の高さまで上がった。火山灰は南へ流れ、南側山腹及びふもとの都市への降灰をもたらした。

（以上、米国スミソニアン自然史博物館の GVP（Global Volcanism Program）による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。）

